

七条中学校だより夏休み5号

京都市立七条中学校

令和8年8月19日

発行:校長 林 秀雄

夏休みの「小さな挑戦」はどうでしたか

夏休みも終わりに近づいてきました。みなさんは、この夏をどのように過ごしたでしょうか。夏休み前の学校だより（7月13号・14号・15号）で、私はみなさんに「小さな挑戦をしてみしてほしい」と伝えました。

毎日15分読書をする、早寝早起きを続ける、勉強を計画的に進める、家の手伝いを続ける、部活動で自分の課題克服に取り組むなど、大きなことでなくても構いません。自分で目標を決め、その目標に向かって継続して取り組むことに価値があると話しました。

さて、みなさんの「小さな挑戦」はどうだったでしょうか。毎日続けることができた人もいるでしょう。途中でうまくいかず、思うように続かなかった人もいるかもしれません。しかし、本当に大切なのは「完璧にできたかどうか」ではありません。自分で目標を立てたこと。その目標を意識して行動したこと。うまくいった日も、いかなかった日も含めて、自分自身と向き合ったこと。それらすべてが挑戦です。

また、7月14号では「七条のプロセス」に絡めて紹介しました。目標を立てる。必要なことを調べる。自分の課題を整理する。どうすればよいかを考える。周りの人と協力する。実際に行動する。そして振り返る。みなさんは、この夏休みの中でどこまで取り組むことができたでしょうか。

さらに、「探究すること」についても話しました。何か一つでも、「なぜだろう」「本当だろうか」と思ったことを調べたり、試したりする経験はできたでしょうか。自由研究や作文だけでなく、自分の好きなことや興味のあることを掘り下げること立派な探究です。

夏休みは、結果だけを見る期間ではありません。大切なのは、「やってみよう」と思ったこと。「続けよう」と努力したこと。「もっと知りたい」と考えたこと。その一つ一つの積み重ねが、みなさんの成長につながっています。2学期が始まったら、ぜひ自分自身の夏休みを振り返ってみてください。●どんな挑戦をしたのか。●何がうまくいったのか。●どんなことが難しかったのか。●次はどうしたいのか。その振り返りこそが、新しい成長への第一歩です。

みなさん一人ひとりが、この夏休みに積み重ねた経験は決して無駄にはなりません。成功した人も、思うようにいかなかった人も、その経験から学び、次につなげることができます。

「夏休みの小さな挑戦」を聞かせてください！

そこで、みなさんの「夏休みの小さな挑戦」を募集します。

応募期間 8月19日～8月25日

＜書いてほしいこと＞

- ① どんなことに挑戦したか
- ② 続けてみてどうだったか
- ③ 成功したことや発見したこと
- ④ 難しかったことや、今後さらに挑戦したいこと

文章の長さは問いません。一言でもかまいません。みなさん一人ひとりの挑戦には、それぞれの価値があります。学校だよりで紹介することも考えています。大きな挑戦である必要はありません。「毎日10分読書をした」「家の手伝いを続けた」「苦手な教科を頑張った」「早起きに挑戦した」「気になることを調べてみた」そんな小さな一歩を、ぜひ教えてください。

一人ひとりの挑戦は、誰かと比べるものではありません。自分なりに努力したこと、自分なりに成長したことを、ぜひ聞かせてください。みなさんの挑戦の記録を楽しみにしています。QRコードからFormsに入力してください。

R8夏休みの小さな挑戦

